

たげな新聞

2012年3月 春号 (1)

製作：鈴木洋子（すずきひろこ）
鈴木誠喜・民生委員さんの娘です

mail : takenoura_news@yahoo.co.jp

厳しい寒さが続きます。そして、もう3月です。あの日から1年…。

まだまだお気持ちの休まらない毎日をお過ごしのことと思います。体調はいかがですか？

震災で大好きな ^{たげな}竹浦を離れ、仮設住宅や借家住宅などに居住している皆さんに、遠く離れていても、少しでも竹浦を近くに感じていただきたくて、「たげな新聞」を発行することにしました。

この新聞で、竹浦の皆さんが、少しでも「たげな」を身近に感じてくださることを願っています。

ありがとうの気持ち 海・絆・獅子ふり

震災以降、多くの方々が、竹浦復興のために「生きる力」を与えてくださっています。

一部の皆様ではありますが、ご紹介させていただきます。 本当にありがとうございました。

「海」



三陸ボランティアダイバーズさん（8月～）

竹浦漁港海底の清掃をしてくださっています。
酸素ボンベにウェットスーツ。本格的なダイバーさんばかり。
海の中を、ひとつひとつ丁寧に…。

彼らのおかげで、安全に、
湾の中に船を係留することができます。

ダイバーさんがみつけた
竹浦のウミウシだってよ♡
こんなハテナの見だごどねー



和歌山県湊水産事業協同組合さん（11月）

塩釜市民ボランティア〔宮城県環境保全教育リーダー〕呼びかけ

舟5隻を寄付してくださいました。

遠く、和歌山からトラックで運んで来てくれました。
みんなで協力して、大切に降ろしました。

そしたら、舟の中に和歌山ミカンが…



日本キリスト教会さん（12月）

海には欠かせないロープを寄付してくださいました。

うきに「ゆつけて」、船で海へ向かいます。
少しずつ、竹浦の海の仕事が始まりました。

「絆」

秋田県仙北市 田沢湖ハイランド山荘
 万葉苑 浅草仏教会仰願寺
 新潟大学災害復興科学センター
 大阪大学建築工学部門
 新潟県山古志村樽ノ木集落・長岡市小高地区・小千谷市十二平地区
 (有)ジオテクノ中里産業
 社団法人日本技術士会東北支部
 宮城県年金受給者協会仙台南支部写真愛好会
 Canon (キャノン)

日本全国のみなさん & 世界中のみなさん

「獅子ふり」

山形県山形市小嶋源五郎商店 (獅子)
 向陽グループ会長 鈴木勝さん 区長さんの弟さん (太鼓 2 台)
 秋田農家民宿 甚吉 (法被 100 枚)
 大塚竹管楽器店 (笛、笛袋 15 袋)
 静岡県三島市(有)根上工業 (支援金)
 豆しぼりプロジェクト 25 名 北九州 静岡 横浜など (豆しぼり)
 ワールド・モニュメント財団
 Hermès Japon (エルメスジャパン)

順不同
 次回号以降「絆」「獅子ふり」についてご紹介する予定です

竹浦関連 新聞記事



石巻かほく 平成 23 年 12 月 21 日紙面より

女川町竹浦漁港の養殖業者は 19 日、沖合の磯場で採取した親となる天然ホヤ 300 個を水揚げ、岸壁に並べた水槽の中に 1 個ずつ入れた。(中略) 9 月に漁師 10 人が共同作業で養殖再開の準備に入った。採苗を効率的に行い、三陸を代表する海の味覚であるホヤの復活に向けた挑戦が始まった。



石巻かほく 紙面より

竹浦獅子ふり保存会が 12 月 11 日、石巻市北村の特別養護老人ホーム「万葉苑」で伝統芸能「獅子ふり」を披露した。竹浦出身で施設経営者の鈴木勝さん(64)が震災直後、施設の風呂や温かい食事などを住民に提供した。(中略) 獅子ふりの太鼓 3 台も津波で流されたため、鈴木さんが所有する太鼓 2 台を無償で譲った。これらの支援を続けたことに、感謝の舞をささげた。

鈴木さんは「わざわざ来てくれてうれしかった。住民の表情がだいぶ明るくなっていて、ほっとした」と話した。

竹浦漁港のあゆみ

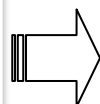
9 月

10 月

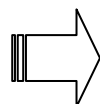
1 月



波が海岸をおおっていました



かさ上げ作業中



その後の竹浦漁港